

令和5年度 第14回吹田市政策会議概要

日 時：令和6年2月20日（火）午前10時5分～午前10時30分

場 所：吹田市役所 高層棟4階 特別会議室

出席者：後藤市長、春藤副市長、辰谷副市長、小西総務部長、今峰行政経営部長、高田市民部長、山下学校教育部長、道場地域教育部長、北澤児童部長、大山福祉部長、梅森健康医療部長、道澤環境部長、清水都市計画部長、真壁土木部長

所 管：【都市魅力部（文化スポーツ推進室）】

井田部長、西田室長、中野参事、金参事、守屋主査

案 件	吹田市スポーツ推進計画及び吹田市スポーツ施設整備方針の策定
担当及び関連部局	都市魅力部（文化スポーツ推進室）
【案件概要】 吹田市スポーツ推進計画及び吹田市スポーツ施設整備方針を策定しようとするもの。	
【所管部の考え方】 本市は、これまで市民へのスポーツの普及・参加促進に向けてスポーツ施設の整備に加え、指導者養成や団体の育成・支援など、様々なスポーツ振興施策に積極的に取り組んできたところである。しかし、スポーツの多様化や人々のライフスタイルの変化などに伴い、行政に求められるニーズも大きく変化しており、スポーツ施策やスポーツ施設のあり方を見直す必要がある。 そのため、今後のスポーツ施策の目的や目指すべき方向性を改めて明確にし、ソフト・ハードの両面から体系的・計画的に推進していくために、「吹田市スポーツ推進計画」及び「吹田市スポーツ施設整備方針」を策定するもの。	
【質疑概要】 意見： 「健康」をキーワードとしてスポーツを生かしてほしい。それが健康寿命の延伸・子供の健全な育成につながる。生涯にわたってスポーツを楽しむために子供の頃からスポーツに親しめるような施設整備の方針となっていると思う。 意見： スポーツ施設に限らないことだが、新たな利用者がより多く集う施設、より多くの市民に利用してもらえる開かれた施設としてほしい。 指示： スポーツへの捉え方や社会ニーズが変化している中、公共の役割は、市民のウェルビーイングを目指すことであろう。「訓練」「鍛錬」「体育」「競技」という言葉で語られてきたスポーツを否定するものではないが、「Enjoy」の視点で語る計画ということ。楽しいからする、これは競技スポーツに取り組むきっか	

けにもなる。スポーツ施設の見直しを行う際にも、複合的な汎用施設とするなど、「Enjoy Your SUITable Sports!」を念頭に進めていくこと。

【結果】

本件は承認された。会議で出た意見、指示を踏まえて取組を進めること。